

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月30日

上場会社名 株式会社 平和 上場取引所 東証第一部
 コード番号 6412 URL <http://www.heiwanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋 保彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 坂本 浩之 TEL (03) 3839 - 0701

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	36,472	—	980	—	4,543	—	1,564	—
19年3月期第3四半期	61,594	5.4	3,297	△62.7	6,939	△35.2	3,335	△51.2
19年3月期	76,677	—	3,421	—	6,701	—	3,771	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	17	76	—	—
19年3月期第3四半期	29	14	—	—
19年3月期	32	95	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	197,660	129,524	65.5	899	13
19年3月期第3四半期	241,969	206,906	85.5	1,807	80
19年3月期	234,419	207,427	88.5	1,812	35

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	15	00	15	00	30	00
20年3月期	25	00	—			
20年3月期(予想)	—		25	00	50	00

3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結業績予想

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	75,170	—	3,780	—	8,930	—	7,100	—	69	43

(2) 個別業績予想

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	67,540	8.8	2,670	△12.2	4,240	△44.8	690	△86.6	5	34

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、3ページ及び4ページの「4. その他」をご参照下さい。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績について

当社は、平成19年8月1日をもって㈱オリンピアを株式交換により完全子会社といたしました。ただし、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号(最終改正平成18年12月22日 企業会計基準委員会)) (以下、「企業結合会計基準」といいます。)上は逆取得に該当することになるため、連結財務諸表は、当中間連結会計期間末に㈱オリンピアが当社を取得したものとみなし、当社の連結財務諸表は㈱オリンピアの連結財務諸表が基準となります。その結果、平成19年3月期決算短信時に当社が公表した連結財務諸表数値と、当第3四半期連結会計期間の連結財務諸表数値との間には連続性がなくなっております。このため、「1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)(1)連結経営成績の対前年第3四半期増減率」につきましては全て「—」表記となっております。

2. 連結業績予想について

上記に記載した連結業績予想数値は、㈱オリンピア及び㈱オリンピアエステート(以下、「オリンピアグループ」といいます。)の通期(平成19年4月1日から平成20年3月31日)の連結損益計算書計上額に、当社及び当社のオリンピアグループ以外の連結子会社(以下、「平和グループ」といいます。)の下半期(平成19年10月1日から平成20年3月31日)の連結損益計算書を連結した金額となっております。このため、「3. 平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)(1)連結業績予想の対前期増減率」につきましては全て「—」表記となっております。なお、上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. 1株当たり当期純利益について

期中平均株式数の算定上の基礎となる株式数(普通株式の発行済株式数から自己株式数を控除した株式数)のうち、当第3四半期連結会計期間開始の日からみなし取得日までの株式数は、当該期間における㈱オリンピアの株式数(株式交換より前から当社が保有する㈱オリンピアの株式数控除後)を当社株式数に換算して算定しております。㈱オリンピアの株式数の当社株式数への換算方法は、当社と㈱オリンピアとの株式交換における交換比率によっております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

㈱オリンピアを取得企業とし当社を被取得企業とした株式交換は、平成19年9月30日をみなし取得日としているため、当第3四半期連結会計期間の連結経営成績には、オリンピアグループの通期の連結損益計算書に平和グループの下半期3ヶ月間（平成19年10月1日から平成19年12月31日）の連結損益計算書を連結した金額となっております。

その結果、当第3四半期（平成19年4月1日から平成19年12月31日）の業績は、連結売上高364億円、連結経常利益45億円、連結第3四半期純利益15億円となりました。

主な事業の概況は、以下の通りであります。

（パチンコ機）

パチンコ機事業におきまして、オリンピアグループは、パチンコ機開発の歴史が浅いため、パチンコ機分野を強みとしている平和グループとの統合を機に、来期に向けての開発体制整備に取り組み、新たなパチンコ機の販売を控えておりました。一方、当社は、10月発売の「銀河英雄伝説」を中心に3機種を発売し、その結果、当第3四半期の販売台数実績は38千台となり、売上高は79億円となりました。

（パチスロ機）

パチスロ機事業におきまして、オリンピアグループは、当中間期までに発売した「俺の名はルパン三世」、「アントニオ猪木も燃えるパチスロ機」に加えて、「マジックモンスター2」ほか2機種を発売いたしました。当社は、当中間期までに発売した「俺の名はルパン三世」を中心に引き続き販売し、その結果、当第3四半期の販売台数実績は94千台となり、売上高は267億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、197,660百万円となりました。これは、オリンピアグループの総資産に平成19年9月30日時点で平和グループが保有する総資産の時価評価額を取り込み、当連結会計年度中の変動額を反映したものであります。負債は、68,136百万円となりました。これは、オリンピアグループの負債に平成19年9月30日時点で平和グループが保有する負債の時価評価額を取り込んだもの及び負ののれん（42,558百万円）の合計額に当連結会計年度中の変動額を反映したものであります。純資産は、129,524百万円となりました。これは、オリンピアグループの純資産額に当社が㈱オリンピアと株式交換を実施したことによる変動額を加算したものに、当連結会計年度中の変動額を反映したものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期連結業績予想は上記のとおりであり、前回公表（平成19年11月22日）から変更はありません。

平成20年3月期の見通しにつきましては、パチンコホールを取り巻く環境は従来に増して厳しいものと予想され、今後遊技機メーカーは、これまで以上に遊技性やキャラクター等により差別化を図り、幅広いユーザー層を呼び込める遊技機の開発を求められています。

そうした状況の中、当社は、平成19年8月1日をもって㈱オリンピアを株式交換により完全子会社といたしました。従来から平和グループはパチンコ機分野を強みとし営業力に定評があり、㈱オリンピアはパチスロ機を主力とし技術力に強みを持っておりました。今回の経営統合を機に、両社の強みを活かし、弱みを補完するために、経営資源を再配置することにより、組織体制を再構築し、また業務プロセスを見直して、シェア拡大を図る体制を整えてまいります。

当社グループは、平成20年3月期のパチンコ機・パチスロ機事業における投入シリーズ数・機種数及び販売台数を以下のとおり予想しております。

	パチンコ機事業		パチスロ機事業		合 計	
	シリーズ数	販売台数	機種数	販売台数	シリーズ・機種数	販売台数
通 期	8	130,000	15	138,000	23	268,000

その結果、平成20年3月期の業績につきましては、売上高751億円、営業利益37億円、経常利益89億円と予想しております。なお、逆取得の会計処理により発生した負ののれんの計上額449億円につきましては、償却年数を5年といたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

前連結会計年度において連結子会社でありましたMeteor LLCは、平成19年6月の当社における解散取締役会決議にもとづき、清算手続きに入っており、平成19年12月に清算手続きが終了したため、当第3四半期より連結除外しております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準は簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(会計処理の変更)

i) 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が平成20年3月31日以前に開始する連結会計年度に係る連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、当連結会計年度から同会計基準を適用しております。

ii) 連結子会社である㈱オリンピアの商品、製品、原材料及び仕掛品の評価方法は、従来商品、製品及び仕掛品については先入先出法による原価法、原材料については移動平均法による原価法により算定していましたが、当連結会計期間より、総平均法による原価法に変更いたしました。

連結子会社である㈱オリンピアの平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）の減価償却方法は、従来法人税法に規定する旧定額法により算定していましたが、当連結会計年度から旧定率法により算定する方法に変更しました。また、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産（ただし、建物（附属設備を除く）は除く）について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

連結子会社である㈱オリンピアエステートの建物及び構築物の減価償却方法は、従来法人税法に規定する旧定額法により算定していましたが、当連結会計年度から法人税法に規定する旧定率法により算定する方法に変更しました。また、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物及び工具、器具及び備品について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 第 3 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額
(資産の部)			
I. 流動資産			
現金及び預金	40,651	52,999	38,570
受取手形及び売掛金	26,255	14,390	17,689
有価証券	24,258	11,347	23,937
棚卸資産	12,624	23,030	14,692
繰延税金資産	2,233	2,035	2,002
その他	7,603	9,038	9,226
貸倒引当金	△50	△24	△29
流動資産合計	113,575	112,818	106,088
II. 固定資産			
1. 有形固定資産			
建物及び構築物	8,269	11,497	8,135
機械装置及び運搬具	1,109	1,945	1,156
工具、器具及び備品	2,782	4,025	2,579
土地	11,933	11,809	11,933
建設仮勘定	2	—	—
有形固定資産合計	24,097	29,277	23,805
2. 無形固定資産	2,296	278	2,341
3. 投資その他の資産			
投資有価証券	93,310	47,401	93,724
長期貸付金	139	222	161
繰延税金資産	1,780	5,713	1,558
その他	7,201	2,575	7,163
貸倒引当金	△434	△626	△425
投資その他の資産合計	101,998	55,286	102,183
固定資産合計	128,393	84,842	128,330
資産合計	241,969	197,660	234,419

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額
(負債の部)			
I. 流動負債			
支払手形及び買掛金	28,076	14,460	20,766
短期借入金	—	185	—
一年以内返済予定の長期借入金	—	528	—
未払法人税等	2,614	937	2,043
繰延税金負債	4	—	130
賞与引当金	290	701	542
役員賞与引当金	70	117	93
特別退職金引当金	—	15	—
その他	3,033	2,660	2,671
流動負債合計	34,090	19,606	26,247
II. 固定負債			
長期借入金	—	2,566	—
繰延税金負債	15	153	57
退職給付引当金	601	1,580	547
製品補償引当金	265	—	17
役員退職慰労引当金	—	819	—
負ののれん	—	42,558	—
その他	89	850	121
固定負債合計	972	48,529	744
負債合計	35,062	68,136	26,991
(純資産の部)			
I. 株主資本			
資本金	16,755	16,755	16,755
資本剰余金	16,675	90,627	16,675
利益剰余金	174,963	23,444	175,399
自己株式	△2,210	△1,133	△2,210
株主資本合計	206,183	129,693	206,618
II. 評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	562	△60	589
為替換算調整勘定	161	△109	219
評価・換算差額等合計	723	△169	808
純資産合計	206,906	129,524	207,427
負債純資産合計	241,969	197,660	234,419

(2) (要約) 第 3 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I. 売上高	61,594	36,472	76,677
II. 売上原価	43,789	24,215	54,702
売上総利益	17,804	12,256	21,975
III. 販売費及び一般管理費	14,507	11,276	18,553
営業利益	3,297	980	3,421
IV. 営業外収益	5,193	3,932	5,641
V. 営業外費用	1,551	368	2,362
経常利益	6,939	4,543	6,701
VI. 特別利益	200	1,023	1,196
VII. 特別損失	434	2,627	481
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	6,705	2,939	7,416
法人税、住民税及び事業税等	3,369	1,375	3,644
第3四半期(当期)純利益	3,335	1,564	3,771

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第 3 四半期 (自平成18年 4 月 1 日 至平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年 3 月31日 残高 (百万円)	16,755	16,675	175,216	△2,210	206,436
第 3 四半期中の変動額					
利益処分による利益配当			△1,717		△1,717
利益処分による役員賞与			△154		△154
剰余金の配当			△1,717		△1,717
第 3 四半期純利益			3,335		3,335
株主資本以外の項目の当第 3 四 半期中の変動額 (純額)					
第 3 四半期中の変動額合計 (百万円)	—	—	△253	—	△253
平成18年12月31日 残高 (百万円)	16,755	16,675	174,963	△2,210	206,183

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合 計	
平成18年 3 月31日 残高 (百万円)	2	△86	△84	206,352
第 3 四半期中の変動額				
利益処分による利益配当				△1,717
利益処分による役員賞与				△154
剰余金の配当				△1,717
第 3 四半期純利益				3,335
株主資本以外の項目の当第 3 四 半期中の変動額 (純額)	559	248	807	807
第 3 四半期中の変動額合計 (百万円)	559	248	807	554
平成18年12月31日 残高 (百万円)	562	161	723	206,906

当第 3 四半期 (自平成19年 4 月 1 日 至平成19年12月31日)

㈱オリンピアを取得企業とし当社を被取得企業とした株式交換の結果、当第 3 四半期連結会計期間期首残高はオリンピアグループの期首残高を開示しております。このため、前連結会計年度の連結会計年度末残高と当第 3 四半期連結会計期間期首残高は連続していません。

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年 3 月 31 日 残高 (百万円)	4,077	3,375	47,651	—	55,104
第 3 四半期中の変動額					
剰余金の配当			△4,771		△4,771
第 3 四半期純利益			1,564		1,564
自己株式の取得				△21,838	△21,838
自己株式の消却			△21,000	21,000	—
株式交換による変動額 (純額)	12,678	87,252		△294	99,635
株主資本以外の項目の当第 3 四半期中の変動額 (純額)					
第 3 四半期中の変動額合計 (百万円)	12,678	87,252	△24,207	△1,133	74,589
平成19年12月31日 残高 (百万円)	16,755	90,627	23,444	△1,133	129,693

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合 計	
平成19年 3 月 31 日 残高 (百万円)	△17	—	△17	55,086
第 3 四半期中の変動額				
剰余金の配当				△4,771
第 3 四半期純利益				1,564
自己株式の取得				△21,838
自己株式の消却				—
株式交換による変動額 (純額)				99,635
株主資本以外の項目の当第 3 四半期中の変動額 (純額)	△42	△109	△152	△152
第 3 四半期中の変動額合計 (百万円)	△42	△109	△152	74,437
平成19年12月31日 残高 (百万円)	△60	△109	△169	129,524

(注)「株式交換による変動額 (純額)」は、㈱オリンピアを取得企業、当社を被取得企業として、パーチェス法を適用したことによる変動額であります。

(ご参考) 前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書 (自平成18年 4 月 1 日 至平成19年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年 3 月 31 日 残高 (百万円)	16,755	16,675	175,216	△2,210	206,436
連結会計年度中の変動額					
利益処分による利益配当			△1,717		△1,717
利益処分による役員賞与			△154		△154
剰余金の配当			△1,717		△1,717
当期純利益			3,771		3,771
株主資本以外の項目の当連結会 計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	—	—	182	—	182
平成19年 3 月 31 日 残高 (百万円)	16,755	16,675	175,399	△2,210	206,618

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合 計	
平成18年 3 月 31 日 残高 (百万円)	2	△86	△84	206,352
連結会計年度中の変動額				
利益処分による利益配当				△1,717
利益処分による役員賞与				△154
剰余金の配当				△1,717
当期純利益				3,771
株主資本以外の項目の当連結会 計年度中の変動額 (純額)	586	306	892	892
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	586	306	892	1,074
平成19年 3 月 31 日 残高 (百万円)	589	219	808	207,427

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメントの情報】

当第 3 四半期 (連結) (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)

(単位: 百万円)

	パチンコ機	パチスロ機	補給機器	遊技場収入	その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	7,930	26,755	128	1,400	258	36,472	—	36,472
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	3	3	(3)	—
計	7,930	26,755	128	1,400	261	36,475	(3)	36,472
営業費用	7,266	24,210	206	1,386	130	33,200	2,291	35,492
営業利益 (又は営業損失)	664	2,544	△78	13	131	3,275	(2,295)	980

(注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分の方法は、販売品目によって区分しております。

2. 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機……………パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤及び工業所有権使用料収入
- (2) パチスロ機……………パチスロ機
- (3) 補給機器……………パチンコホール用パチンコ玉補給還元機及び補給管理コンピュータ
- (4) 遊技場収入……………パチンコホールの玉貸収入
- (5) その他……………リース、再保険業、投資事業、情報配信サービス等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、2,310百万円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

前第 3 四半期 (連結) (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日)

(単位: 百万円)

	パチンコ機	パチスロ機	補給機器	遊技場収入	その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	37,525	11,720	2,958	8,469	920	61,594	—	61,594
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,811	1,304	77	—	212	7,406	(7,406)	—
計	43,337	13,025	3,035	8,469	1,132	69,000	(7,406)	61,594
営業費用	38,603	11,202	3,107	8,475	601	61,990	(3,693)	58,296
営業利益 (又は営業損失)	4,734	1,823	△71	△6	530	7,010	(3,713)	3,297

(注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分の方法は、販売品目によって区分しております。

2. 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機……………パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤及び工業所有権使用料収入
- (2) パチスロ機……………パチスロ機
- (3) 補給機器……………パチンコホール用パチンコ玉補給還元機及び補給管理コンピュータ
- (4) 遊技場収入……………パチンコホールの玉貸収入
- (5) その他……………リース、再保険業、投資事業、情報配信サービス等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、3,670百万円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

(ご参考) 前連結会計年度 (自 平成18年 4 月 1 日 至 平成19年 3 月31日)

(単位: 百万円)

	パチンコ機	パチスロ機	補給機器	遊技場収入	その他	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	44,129	16,573	3,515	11,170	1,288	76,677	—	76,677
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,609	1,297	101	—	293	9,302	(9,302)	—
計	51,738	17,871	3,616	11,170	1,582	85,979	(9,302)	76,677
営業費用	46,136	15,862	3,729	11,149	849	77,728	(4,472)	73,255
営業利益 (又は営業損失)	5,602	2,008	△113	20	732	8,251	(4,829)	3,421

(注) 1. 事業区分の方法

当社グループの事業区分の方法は、販売品目によって区分しております。

2. 各事業区分の主要な製品

- (1) パチンコ機……………パチンコ機、パチンコ機ゲージ盤及び工業所有権使用料収入
- (2) パチスロ機……………パチスロ機
- (3) 補給機器……………パチンコホール用パチンコ玉補給還元機及び補給管理コンピュータ
- (4) 遊技場収入……………パチンコホールの玉貸収入
- (5) その他……………リース、再保険業、投資事業、情報配信サービス等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、4,810百万円であり、その主なものは、当社の管理部門に係る費用であります。

6. 四半期個別財務諸表

(1) (要約) 第 3 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I. 流動資産					
現金及び預金	30,082	28,958	△1,123	△3.7	28,276
受取手形	11,814	6,736	△5,077	△43.0	10,981
売掛金	9,549	1,893	△7,656	△80.2	3,926
有価証券	22,924	11,367	△11,557	△50.4	22,213
棚卸資産	11,696	16,388	4,691	40.1	13,609
繰延税金資産	2,149	1,673	△476	△22.2	1,896
その他	7,775	5,231	△2,544	△32.7	9,145
貸倒引当金	△12	△5	6	△50.3	△8
流動資産合計	95,982	72,244	△23,738	△24.7	90,041
II. 固定資産					
1. 有形固定資産					
土地	10,876	10,899	22	0.2	10,876
その他	10,146	10,101	△45	△0.4	9,784
有形固定資産合計	21,023	21,000	△22	△0.1	20,661
2. 無形固定資産					
	111	148	36	32.8	148
3. 投資その他の資産					
投資有価証券	70,598	42,781	△27,817	△39.4	69,517
繰延税金資産	1,643	3,153	1,509	91.9	1,419
その他	38,199	43,633	5,434	14.2	38,712
貸倒引当金	△434	△543	△109	25.2	△475
投資その他の資産合計	110,007	89,024	△20,982	△19.1	109,174
固定資産合計	131,143	110,174	△20,969	△16.0	129,983
資産合計	227,125	182,418	△44,707	△19.7	220,025

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I. 流動負債					
支払手形	3,498	707	△2,791	△79.8	6,607
買掛金	22,249	5,555	△16,694	△75.0	12,473
未払法人税等	2,456	741	△1,714	△69.8	1,831
賞与引当金	244	451	206	84.5	465
役員賞与引当金	70	77	7	10.7	73
特別退職金引当金	—	15	15	—	—
その他	2,564	7,719	5,155	201.0	2,212
流動負債合計	31,083	15,269	△15,814	△50.9	23,664
II. 固定負債					
退職給付引当金	504	463	△41	△8.1	457
製品補償引当金	265	—	△265	△100.0	17
役員退職慰労引当金	—	398	398	—	—
その他	6	5	0	△11.6	6
固定負債合計	777	867	90	11.7	480
負債合計	31,860	16,136	△15,723	△49.4	24,145
(純資産の部)					
I. 株主資本					
1. 資本金	16,755	16,755	—	—	16,755
2. 資本剰余金					
(1) 資本準備金	16,675	16,675	—	—	16,675
資本剰余金合計	16,675	16,675	—	—	16,675
3. 利益剰余金					
(1) 利益準備金	3,468	3,468	—	—	3,468
(2) その他利益剰余金					
別途積立金	7,512	7,512	—	—	7,512
繰越利益剰余金	152,508	122,908	△29,599	△19.4	153,178
利益剰余金合計	163,489	133,889	△29,599	△18.1	164,159
4. 自己株式	△2,145	△838	1,306	△60.9	△2,145
株主資本合計	194,773	166,480	△28,293	△14.5	195,444
II. 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	490	△199	△690	△140.7	435
評価・換算差額等合計	490	△199	△690	△140.7	435
純資産合計	195,264	166,281	△28,983	△14.8	195,880
負債純資産合計	227,125	182,418	△44,707	△19.7	220,025

(2) (要約) 第 3 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I. 売上高	50,199	39,303	△10,895	△21.7	62,059
II. 売上原価	34,031	26,334	△7,696	△22.6	42,125
売上総利益	16,167	12,968	△3,198	△19.8	19,933
III. 販売費及び一般管理費	13,171	11,754	△1,417	△10.8	16,894
営業利益	2,995	1,213	△1,781	△59.5	3,039
IV. 営業外収益	5,297	3,383	△1,913	△36.1	5,710
V. 営業外費用	576	1,081	505	87.7	1,063
経常利益	7,716	3,515	△4,200	△54.4	7,685
VI. 特別利益	188	751	563	299.9	1,192
VII. 特別損失	406	4,581	4,175	1,026.4	607
税引前第3四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	7,497	△313	△7,811	△104.2	8,270
法人税、住民税及び事 業税等	3,031	△127	△3,159	△104.2	3,133
第3四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	4,466	△186	△4,652	△104.2	5,136